

専門分野				
臨床心理学				
研究課題				
児童・思春期における心理臨床				
教育活動				
担当授業科目(学部)				
担当授業科目(大学院)				
臨床心理地域援助学演習 I II 臨床心理面接学実習 I II 臨床心理地域援助学実習 I III IV 総合的事例研究演習 I II 臨床心理査定学実習 I II				
事項	年月	対象者	概要	
教育方法の実践例				
教育・医療・福祉領域における各機関の特性の講義とグループディスカッション	平成 19 年 4 月～現在	大学院受講者	医療・教育・福祉各領域における臨床の専門性と共通点を、臨床事例やトピックスを交えパワーポイントで提示し講義。さらにグループディスカッションにより主体的に思考し臨床感を意識できるよう工夫した。	
臨床実習を振り返ったグループディスカッションを施行後、共通する臨床心理学的視点を講義	平成 19 年 4 月～現在	大学院受講者	各自の臨床実習を振り返りグループで討議。その後臨床実践と理論を照合させ、共通した課題を意識し検討していけるよう工夫した。	
心理面接における見立てと方針の立て方、心理面接における実際についての講義とグループディスカッション	平成 23 年 4 月～現在	大学院受講者	心理面接における見立てと方針の立て方についての基本をパワーポイント資料で提示し講義。さらに架空の事例を作成し、グループディスカッションで検討することで主体的に取り組めるよう工夫した。	
心理査定における実際について、医療・教育機関で臨床心理士の元で実習し、所見を作成。その後個別指導を行う	平成 20 年 4 月～現在	大学院受講者	医療・教育機関で心理検査を施行してもらい、現場に有効な所見の書き方を個別で指導。その際、保護者や非心理職でもわかりやすい言葉で説明できる力をつけることを重視した。	
作成した教材・資料集				
その他教育活動上特記すべき事項				
学外実習先での事例検討会や研修会への参加	平成 19 年 4 月～現在	大学院受講者	各機関が施行する事例検討会や研修会に参加させ、医師・教師・保育士・ケースワーカーなど他職種との協働の実際について学ぶ機会を提供している。	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前、曲名、担当頁、概要など
著書・訳書・CD 等				

学術論文				
学外臨床心理実習におけるケース活動の実際と意義	共	平成 24 年 3 月 1 日	帝塚山学院大学大学院心理教育相談センター紀要 第8号	帝塚山学院大学大学院専門職学位課程がかかわる小学校での特別支援関連の臨床心理実習を報告し、その臨床実践上の効果や意義を検討した。また、臨床心理実習としての指導の在り方や、学生の受け止め方、さらに現在の臨床心理士としての実践にどう生かされているか等について報告した。pp45-59
児童の発達特性を重視した心理支援	共	平成 26 年 3 月 1 日	帝塚山学院大学大学院心理教育相談センター紀要 第 10 号	発達障害児に対する学習支援プログラムを紹介し、専門職学位課程における心理臨床トレーニングとして、発達障害児に対する学習支援がどのように位置づけられるかを検討し報告した。pp53-pp64
河合論文へのコメント	単	平成 26 年 3 月 1 日	帝塚山学院大学大学院心理教育相談センター紀要 第 10 号	河合梨沙論文「不安が拡散する母親面接過程」に対して、治療課程や治療者としての態度についてコメントを述べた。Pp73-3-pp75
「総合病院における高齢者入院患者とのベッドサイド面談」	共	平成 27 年 3 月 1 日	帝塚山学院大学大学院心理教育相談センター紀要 第 11 号	専門職学位課程 2 回生吉波・中村・溝上が総合病院実習で行った、高齢者入院患者とのベッドサイド面談実習における意義について彼らの報告と共に述べた。Pp83-pp91
篠原論文へのコメント	単	平成 28 年 3 月 1 日	帝塚山学院大学大学院心理教育相談センター紀要 第 12 号	篠原一斗論文「注意欠陥・多動症と診断された成人男性に対する面接過程」に対して、治療課程や治療者としての態度についてコメントを述べた。Pp72-pp75
専門職大学院における医療機関実習の実際	共	平成 29 年 3 月	帝塚山学院大学大学院心理教育相談センター紀要 第 13 号	医療機関実習における本学の取り組みの現状を報告すると共に、医療領域実習機関の一つである神経科での実習生からの報告をまとめ考察した
学会発表				
シンポジウム 摂食障害若年化への対応 情緒面と認知面の成長を見据えた対応	単	平成 25 年 11 月 2 日～3 日	第 17 回日本摂食障害学会学術集会 神戸	入院治療ができないこども心身医療研究所における若年発症の摂食障害例の治療において、母子関係に病理の焦点を当て過ぎず、適度なコントロール感をもつことが困難となったと理解し、ほどよいコントロール感の体験を重ねる支援を続ける視点が有効であることを、事例を通して報告した。
事例検討セミナー 異なる学派による事例の見たてと対応	共	平成 26 年 9 月 12 日～14 日	第 32 回日本小児心身医学会学術集会	発達促進的視点で加療した、発達の偏りを持ち身体症状を呈する不登校中学女子例を、統合的家族療法(藤田博康)と分析的アプローチ(三船直子)の立場での加療とを比較し報告した。
過食を主訴に受診したAD/HDの一事例 — 成人例治療における小児科的発達の視点の重要性—	単	平成 28 年 7 月 30 日	第 59 回日本心身医学会近畿地方会	過食を主訴に受診後ADHDが判明。それを本人が受容し自己理解を深めること、また治療者が情緒的な発達を視野に入れた治療が有効であった事例を報告した。
医師—心理士の協働セミナー 治療の入り口における医師と心理士の役割分担	共	平成 28 年 9 月 9 日～11.日	第 34 回日本小児心身医学会学術集会	識名節子氏と共に総合病院・大学病院 NICU・開業クリニックの臨床心理士からの報告を受け、小児心身症を専門とする臨床心理士が治療開始時に医師との友好な連携について検討した。

演奏会・発表会				
その他の研究発表、演奏				
その他の著書、訳書等(雑誌原稿等を含む)				
研究助成金の受給状況				
科研費の採択				
研究タイトル		助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別
		支給額		支給年度
その他の外部資金による活動				
研究タイトル		助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別
「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上事業」		「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上事業」 文科省		
		支給額		支給年度
		170万円		平成26年度 平成27年度
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
学内委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
社会活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
平成22年6月～平成24年6月		日本心身医学会代議員		
平成25年4月～現在		日本小児心身医学会理事 評議員		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
堺市立はるみ小学校 特別支援研修	単	平成24年2月8日	堺市立はるみ小学校	堺市立はるみ小学校事例を通して特別支援研修を行った。
はるみだいい保育園 特別支援研修	単	平成24年3月22日	はるみだいい保育園	はるみだいい保育園事例を通して特別支援研修を行った。
近畿・東海・北陸地区特別支援学校病弱教育教頭会 病弱児の二次障害—二次的な心身の不調や不適応行動への支援—	単	平成24年6月7日	大阪市天王寺区アウィーナ大阪	病弱児支援学級に在籍する児童・生徒が、二次的な症状や不適応行動を心身の不調を来したすことを防ぐための支援やその対応について 近畿・東海・北陸地区特別支援学校教頭21名に対して述べた
大阪病弱教育研究会 病弱児の二次障害—二次的な心身の不調や不適応行動への支援—	単	平成24年8月24日	大阪府教育会館	病弱児支援学級に在籍する児童・生徒が、二次的な症状や不適応行動を心身の不調を来したすことを防ぐための支援やその対応について 大阪府内病弱児支援学級教員約100名に対して述べた

和泉市こども部研修 発達障がい理解とその対応—二次障がいを防 ぐ—	単	平成 25 年 1 月 22 日	和泉市コミュニティセンター	和泉市幼稚園教員・保育士に対して発 達障害に対する理解と幼稚園・保育所 のできる支援について述べた
堺市立はるみ小学校 特別支援研修	単	平成 25 年 3 月 6 日	堺市立はるみ小学校	堺市立はるみ小学校事例を通して特別 支援研修を行った。
尼崎市立尼崎工業高校 職員研修「事例検討会」	単	平成 25 年 7 月 10 日	尼崎市立尼崎工業高校	尼崎市立尼崎工業高校教職員を対象と し、対応困難事例についての対応を助 言した。
堺市立はるみ小学校 特別支援研修	単	平成 25 年 7 月 30 日	堺市立はるみ小学校	堺市立はるみ小学校事例を通して特別 支援研修を行った。
堺市立南八下小学校 特別支援研修	単	平成 25 年 7 月 31 日	堺市立南八下小学校	堺市立南八下小学校事例を通して特別 支援研修を行った。
はるみだいい保育園 特別支援研修	単	平成 24 年 3 月 22 日	はるみだいい保育園	はるみだいい保育園事例を通して特別 支援研修を行った。
橋本市健康福祉部こども課 市要対協登録ケースの事例検討会実務者向け 講義	単	平成 26 年 1 月 8 日	橋本市役所	橋本市健康福祉部こども課職員ならび に市要対協に関係するスタッフに対し て、事例を通じた講義を行った。
橋本市健康福祉部こども課 市要対協登録ケースの事例検討会実務者向け 講義	単	平成 26 年 2 月 5 日	橋本市役所	橋本市健康福祉部こども課職員ならび に市要対協に関係するスタッフに対し て、事例を通じた講義を行った。
寝屋川市教育委員会 不適応状態にある子ども理解と支援	単	平成 26 年 2 月 6 日	寝屋川市教育センター	寝屋川市教育センター主催不登校につ いての継続セミナー 不登校支援を 目指す方に不適応状態に対する理解と 支援について述べた
はるみだいい保育園 特別支援研修	単	平成 26 年 2 月 19 日	はるみだいい保育園	はるみだいい保育園事例を通して特別 支援研修を行った。
堺市立南八下小学校 特別支援研修	単	平成 26 年 3 月 4 日	堺市立南八下小学校	堺市立南八下小学校事例を通して特別 支援研修を行った。
堺市立はるみ小学校 特別支援研修	単	平成 26 年 3 月 11 日	堺市立はるみ小学校	堺市立はるみ小学校事例を通して特別 支援研修を行った。
堺市立はるみ小学校 特別支援研修	単	平成 26 年 7 月 22 日	堺市立はるみ小学校	堺市立はるみ小学校事例を通して特別 支援研修を行った。
教員免許更新講習 こどもの変化についての理解	単	平成 26 年 7 月 31 日	帝塚山学院大学	教員免許更新講習において、発達障 害を含め昨今のこどもの認知的・情 緒的特性について述べた。
堺市立はるみ小学校 特別支援研修	単	平成 27 年 3 月 4 日	堺市立はるみ小学校	堺市立はるみ小学校事例を通して特別 支援研修を行った。
はるみだいい保育園 特別支援研修	単	平成 27 年 3 月 4 日	はるみだいい保育園	はるみだいい保育園事例を通して特別 支援研修を行った。
堺市立南八下小学校 特別支援研修	単	平成 27 年 3 月 5 日	堺市立南八下小学校	堺市立南八下小学校事例を通して特別 支援研修を行った。
大阪狭山市子育て支援センターぽっぽ園 発達障害と心の発達	単	平成 27 年 3 月 12 日	大阪狭山市子育て支援センタ ー	第 3 回大阪狭山市子育て支援ぽっぽ園 子育てサポーター研修において、発 達障害と心の発達について述べた。
堺市立はるみ小学校 特別支援研修	単	平成 27 年 7 月 21 日	堺市立はるみ小学校	堺市立はるみ小学校事例を通して特別 支援研修を行った。
堺市立南八下小学校 特別支援研修	単	平成 27 年 7 月 22 日	堺市立南八下小学校	堺市立南八下小学校事例を通して特別 支援研修を行った。
泉州高校PTA交流会 母親と高校生である子どもとの付き 合い方について	単	平成 27 年 6 月 8 日	アゴーラリージェンシーホテル	泉州高校保護者に対して、高校生 の心理発達の特性と、母親の関わり 方について述べた

教員免許更新講習 子どもの変化についての理解	単	平成 27 年 8 月 26 日	帝塚山学院大学	教員免許更新講習において、発達障害を含め昨今のこどもの認知的・情緒的特性について述べた。
八尾市立大正北小学校校内研修 支援を有する子どもの理解	単	平成 27 年 8 月 28 日	八尾市立大正北小学校	八尾市立大正北小学校校内教員研修において、支援を有する子どもの理解について述べた
堺市立はるみ小学校 特別支援研修	単	平成 28 年 2 月 3 日	堺市立はるみ小学校	堺市立はるみ小学校事例を通して特別支援研修を行った。
大阪狭山市子育て支援センターぽっぽ園 こどもの心の発達	単	平成 28 年 2 月 16 日	大阪狭山市子育て支援センター	第 4 回大阪狭山市子育て支援ぽっぽ園子育てサポーター研修において、こどもの心の発達について述べた。
堺市立南八下小学校 特別支援研修	単	平成 28 年 2 月 29 日	堺市立南八下小学校	堺市立南八下小学校事例を通して特別支援研修を行った。
はるみだい保育園 特別支援研修	単	平成 28 年 3 月 2 日	はるみだい保育園	はるみだい保育園事例を通して特別支援研修を行った。
帝塚山学院小学校職員研修 「発達障害についての理解と対応」	単	平成 28 年 4 月 6 日	帝塚山学院小学校	帝塚山学院小学校教員対象に、発達障害児への理解と対応について述べた
学校法人 聖ヨゼフ学園京都暁星高等学校公開 講座「思春期の心 その発達に大切なこと」	単	平成 28 年 4 月 29 日	京都暁星高等学校	思春期の心の発達におけるネット文化の影響や、健全な発達のために重要な視点について述べた
春の心身症治療セミナー 心身医療における医師と臨床心理士の連携	単	平成 28 年 5 月 26 日	ホテルアゴーラリージェンシー 堺	MSD主催 近畿大学医学部診療内科が担当した、内科医・小児科医・臨床心理士向けの心身症セミナーにおいて、「心身医療における医師と臨床心理士の連携」について述べた。
一般社団法人大阪総合・医学教育研究会 定例学術研究会「地域連携」	単	平成 28 年 6 月 10 日	エル おおさか	子どもに関わる医師・臨床心理士、教員などの専門職に対して、心身医学的治療において、地域連携における事例の実際について述べた
堺市立南八下小学校 特別支援研修	単	平成 28 年 7 月 28 日	堺市立南八下小学校	堺市立南八下小学校事例を通して特別支援研修を行った。
教員免許更新講習 子どもの生活を踏まえた課題 子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見	単	平成 28 年 8 月 25 日	帝塚山学院大学	教員免許更新講習において、現代の子どもを取り巻く環境が及ぼす心理的影響や、発達障害を含め昨今のこどもの認知的・情緒的特性について、脳科学・心理学の知見から述べた。
第 28 年度有田圏域自立支援協議会子ども部会 講演会	単	平成 28 年 12 月 1 日	和歌山県有田郡広川町役場	発達障害児者への理解と支援」をテーマに講演を行った。
寝屋川市教育委員会教育相談連続講座 「子どもの心の発達」	単	平成 29 年 1 月 26 日	寝屋川市教育研修センター	「不登校の子どもにどう接すればいいかわからない。」「子どもの教育について悩んでいる。」という保護者・市民対象教育相談連続講座の一講座を担当
堺市立南八下小学校 特別支援研修	単	平成 29 年 2 月 28 日	堺市立南八下小学校	堺市立南八下小学校事例を通して特別支援研修を行った。
堺市立はるみ小学校 特別支援研修	単	平成 29 年 3 月 3 日	堺市立はるみ小学校	堺市立はるみ小学校事例を通して特別支援研修を行った。
近大泉州高校職員研修 「愛着障害と不適応行動」	単	平成 29 年 3 月 16 日	近大泉州高校	近大泉州高校事例検討と共に愛着障害と不適応行動の関係について述べた
思春期と発達障害 「事例研究 有効な連携のために」	共	平成 23 年 11 月 5 日～6 日 第3回	ホテルコスモスクエア国際交流センター	一般社団法人 大阪総合医学・教育研究会こども心身医療研究所主催の継続セミナー

				こども心身セミナー 医師・教師・心理士など小児の臨床に携わる専門職対象セミナー 各回の一部分科会を担当
第5回こども心身セミナー 「事例研究 認知・情緒発達と家族関係の見立ての重要性」	共	平成25年6月1日～2日 第5回	ホテルコスモスクエア国際交流センター	〃
第6回こども心身セミナー 「事例研究 発達障害を抱える子どもの適応:成人で顕在化した事例を通して」	共	平成26年5月31日～6月1日 第6回	ホテルコスモスクエア国際交流センター	〃
第7回こども心身セミナー 「事例研究 いじめ事例について」	共	平成27年5月30日～5月31日 第7回	ホテルコスモスクエア国際交流センター	〃
第8回こども心身セミナー 「見立てと方針」	共	平成28年5月28日～5月29日	ホテルコスモスクエア国際交流センター	〃
大阪府済生会泉尾病院看護師研修	単	平成28年4月19日	大阪府済生会泉尾病院	新人看護師に対してメンタルヘルス研修をおこなった
大阪府済生会泉尾病院看護師研修	単	平成28年8月13日	大阪府済生会泉尾病院	新人看護師を指導する立場の看護師に対してコーチング・カウンセリングスキル等メンタルサポート研修を行った

学外機関委員等

就任期間	機関名・委員名・役職名
平成23年4月1日～現在	尼崎市青少年問題協議会委員
平成24年4月1日～現在	大阪府立三国丘高等学校学校協議会委員
平成26年4月1日～現在	川西市青少年問題協議会委員
平成27年4月1日～平成28年3月31日	尼崎市子ども・子育て審議会計画策定部会委員

その他、学会や学術的団体での活動、社会活動上特記すべき事項

平成7年4月～現在	八尾市立教育サポートセンター適応指導教室スーパーバイザー
平成24年4月～現在	大阪府立羽曳野支援学校教員研修講師
平成24年6月～現在	堺市特別支援教育専門家チーム相談員
平成25年4月～現在	帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校 スーパーバイザー
日本心身医学会(005729)	
日本小児心身医学会(0133)	
日本心理臨床学会(867-3646)	
日本箱庭療法学会(8700432)	
日本音楽療法学会(10107)	
日本精神分析学会(595-387-0084)	
日本児童青年精神医学会(CHI-3555)	

海外での活動

海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること

期間	国名	概要